

平成 30 年度下半期の財政事情 (平成 31 年 3 月 31 日現在の執行状況)

市民の皆さんに納めていただいた税金やそのほかの歳入を、どのようなことに使ったのかを知っていただくため、財政執行状況をお知らせします。

なお、出納整理の期間（4月1日～5月31日）の数字が含まれませんので、決算の数字とは異なります。
※表の金額は概算です。

■一般会計 歳入の状況

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	145億5,781万円	146億3,910万円	100.6%
地方譲与税	5億5,512万円	5億6,276万円	101.4%
地方消費税交付金	17億6,376万円	17億9,500万円	101.8%
地方交付税	94億9,816万円	100億3,376万円	105.6%
分担金及び負担金	7億9,235万円	5億1,933万円	65.5%
使用料及び手数料	5億5,278万円	5億1,859万円	93.8%
国庫支出金	57億1,988万円	42億6,160万円	74.5%
県支出金	27億6,503万円	24億8,751万円	90.0%
繰入金	22億4,277万円	8億2,750万円	36.9%
繰越金	12億 176万円	12億 176万円	100.0%
諸収入	11億4,922万円	9億5,442万円	83.0%
市債	96億5,280万円	29億1,010万円	30.1%
その他	9億2,517万円	8億7,794万円	94.9%
合計	513億7,661万円	415億8,937万円	81.0%

■一般会計 歳出の状況

科目	予算現額	支出済額	収入率
議会費	3億 93万円	2億9,374万円	97.6%
総務費	114億6,369万円	84億4,704万円	73.7%
民生費	141億7,515万円	114億6,424万円	80.9%
衛生費	76億 778万円	34億4,397万円	45.3%
労働費	7,402万円	7,369万円	99.6%
農林業費	19億4,815万円	14億9,094万円	76.5%
商工費	4億1,193万円	3億6,315万円	88.2%
土木費	24億9,462万円	19億9,645万円	80.0%
消防費	16億5,553万円	15億3,037万円	92.4%
教育費	36億1,364万円	30億2,234万円	83.6%
災害復旧費	12億8,441万円	7億5,370万円	58.7%
公債費	63億2,670万円	50億1,185万円	79.2%
予備費	3,000万円	0万円	0.0%
合計	513億8,655万円	378億9,148万円	73.7%

市の借金である市債の収入済額は 29 億 1,010 万円で、市債の予算現額に対して 30.1% の収入となっています。収入率が低いのは5月に借りの金額が多いためです。また、予算現額には繰越明許費*を含んでいます。

*繰越明許費：翌年度に限り繰り越して使用することができる予算のこと

■市税の状況

皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多くなっています。また、市民税の収納額は市税全体に対して、40.2%となっています。

区分	予算現額	収納額	収入率
市民税	59億6,115万円	57億9,003万円	97.1%
固定資産税	75億9,349万円	76億4,361万円	100.7%
都市計画税	1万円	1万円	100.0%
特別土地保有税	853万円	853万円	100.0%
軽自動車税	3億 979万円	3億1,363万円	101.2%
市たばこ税	6億2,926万円	5億9,827万円	95.1%
鉱産税	4万円	6万円	150.0%
入湯税	5,554万円	5,533万円	99.6%
合計	145億5,781万円	144億 947万円	99.0%

■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算現額 A	歳入		歳出	
			収入済額 B	収入率 B/A	支出済額 C	執行率 C/A
特別会計	国民健康保険事業	100億7,027万円	89億4,587万円	88.8%	93億6,128万円	93.0%
	住宅新築資金等貸付	8,563万円	1,994万円	23.3%	8,203万円	95.8%
	駐車場事業	4,872万円	4,151万円	85.2%	2,300万円	47.2%
	介護保険事業	103億9,476万円	87億3,382万円	84.0%	91億3,554万円	87.9%
	サービスエリア	1,033万円	933万円	90.3%	615万円	59.5%
	後期高齢者医療	12億1,210万円	11億5,968万円	95.7%	10億3,159万円	85.1%
	食肉センター	9,676万円	7,304万円	75.5%	8,576万円	88.6%
財産区	島ヶ原財産区	3,047万円	1,848万円	60.6%	2,397万円	78.7%
	大山田財産区	1,394万円	1,394万円	100.0%	324万円	23.2%
合計		219億6,298万円	190億1,561万円	86.6%	197億5,256万円	89.9%

■基金

基金とは家計に例えると貯金のようなものです。基金の総額は165億2,735万円です。主なものは次のとおりです。

区 分	残 高
財政調整基金	63億3,565万円
伊賀市振興基金	30億5,011万円
国民健康保険給付費支払準備基金	4億5,832万円

■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。

区 分	残 高
一般会計	30億円
特別会計	0円
企業会計	0円



■市債の累計

一般会計

会計名	残 高
総務債など	340億5,488万円
教育債	80億9,309万円
土木債	59億6,557万円
保健衛生債	24億2,976万円
農林債	7億1,231万円
合 計	512億5,561万円

特別会計

会計名	残 高
国民健康保険事業（直営診療所）	718万円
住宅新築資金等貸付	1,374万円
合 計	2,092万円

企業会計

会計名	残 高
病院事業	11億4,339万円
水道事業	135億2,313万円
下水道事業	149億8,902万円
合 計	296億5,554万円

【問い合わせ】

財政課

☎ 22-9608 FAX 24-2440

✉ zaisei@city.iga.lg.jp

■財政の動向および市長の財政方針

市の財政状況ですが、収入では国から交付される地方交付税のうち、普通交付税が令和2年度以降、合併代替の終了により更なる減額が見込まれ、支出では人件費や扶助費、公債費などの義務的経費が一般財源に占める割合が高い状況が続くことが予想され、厳しい財政状況が続くことを見込んでいます。

このような財政状況を踏まえ、有利な財源である合併特例債を活用できる期間を延長するなど、財源を確保しつつ、各種事業について引き続き取り組むこととし、市民の皆さんの理解と協力を得ながら、さまざまな問題の解決に取り組むため、今年度の予算を「伊賀流『元気にぎわいづくり』予算」といたしました。

中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、今年度で早急に取り組む必要がある事業として、5つの『まったなし』『にぎわいの創出』『災害対策の充実』『少子高齢化への対応』『未来を担うこどもの育成』『活力あるまちづくりへの次世代育成』に取り組んでいきます。

令和元年5月

伊賀市長 岡本 栄